

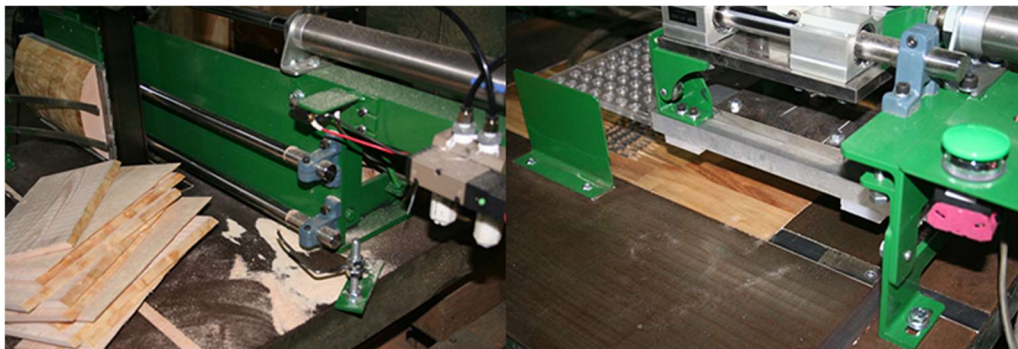
山林から作って山林へ戻す 資源循環型社会を目指して

自社製造だからできる森林と林業を守る取り組みを開始します



吉辰商店(奈良県吉野郡下市町、代表:吉井辰弥)は、環境を考えた新しい取り組み『リサイクルビジネスモデル』の開始をお知らせします。本取り組みは、資源依存型から循環型の社会への変革を目指すものです。

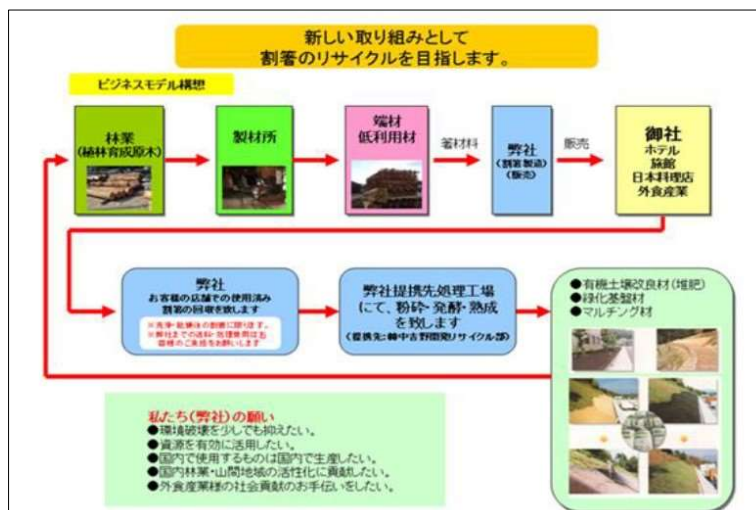
■製造者責任を明らかにすることから始めた環境保全の取り組み



吉辰商店の創業は昭和25年。最初は問屋でしたが、約17年前から製造も担うようになりました。というのも、仕入れ販売では作り手の想いを届けられない、もっと責任を持って吉野杉箸の良さをお客様にご提案したいと考えたからです。当店では各種吉野杉箸(懐石箸・お祝い箸、割箸等)や料理演出用品、三宝などの神具などのほか、別注にて各種木工製品も承っております。製造問屋になったことで、ホテルや料亭などに自社製品を直接卸すことになりました。その結果、「お客様のお客様」にまで心をくばり、“料理の味と作り手の心遣いを引き立てている”という実感がさらに持てるようになりました。

40年前は奈良県内に300軒以上あった割箸生産者も、今は40軒ほどになっています。建築様式の変化にともなって奈良県産高級木材の使用が激減し、割箸の原料である端材が手に入らなくなったことが原因のひとつ。ただ、端材や低利用材の活用は林業の維持には欠かせないもの、なくしてはならないものです。そこで当社は、継続的な産業発展と地域の活性化、山林の保全ができるビジネスプランを考えました。

■SDGsポイント： 使用済み割箸のリサイクルで循環型社会を目指す



現在、外食産業で使用済みとなった割箸は、その他のゴミと共に焼却処分されています。当社では、それらを回収、粉碎・発酵・熟成して有機土壌改良材(堆肥)、緑化基盤材、ウッドチップなどのマルチング材に戻す取り組みを開始しました。

今までも生産工程で出たおが屑や削り屑は、土壌改良材や緩衝材として活用してきました。

しかしこの度からは、製造するだけでなく、その商品が使用された先までを考え自然に戻す、循環型社会を目指しています。限りある国内資源を有効活用し、林業および山間地域の活性化につながる取り組みです。

■ 人を育て、山を育むための啓蒙活動



環境破壊は無関心から始まります。そこで、当社では、カンナを使って自分好みの箸をつくる『杉箸づくりワークショップ』や、育成林を直接見て体験できる『林道ツアー』なども開催しています。山林サイクルや放置林などの現状、適正な間伐による災害のない山林づくりについて知っていただくためです。

当店の吉野杉のお箸を通じて吉野の山々に想いを馳せ、ぜひ山や森を身近な存在に感じて、興味や愛着を持っていただきたいと思います。

【お問合せ】

会社名： 吉辰商店 Yoshitatsu Inc. 代表者： 吉井 辰弥

所在地： 奈良県吉野郡下市町下市 2764-6

TEL: 0747-52-3649 E-mail: info@yoshitatsu.net

URL : <http://yoshitatsu.net> Shop URL: <https://yoshinosugi.thebase.in/>